

「野生動物と生きる」

～ツキノワグマの大量出没について考える～

生息環境管理の視点から

近年、富山県内ではイノシシなどの野生鳥獣による被害が問題となっています。特に、昨年秋期にはツキノワグマの大量出没により、人身被害が多く発生するなど社会問題となりました。そこで、ツキノワグマの大量出没に関するシンポジウムを開催し、その現状と課題について議論し、ツキノワグマとの共存について考えます。



開催日時：令和2年2月11日（火・祝） 受付：13:00～13:30（定員：約50人）
（事前にねいの里へお電話で、申し込みしてください。）

開催場所：富山県自然博物館ねいの里研修室

プログラム：13:30～15:30

「ツキノワグマの大量出没について考える」

・ どんぐりの豊凶からクマの大量出没を予測する
富山県森林研究所 副主幹研究員 中島春樹

・ これまでのクマの出没状況と人身被害
富山県自然博物館ねいの里 係長 間宮寿頼

・ 住居集合地へのクマ出没の現状と課題
富山市森林政策課 主幹 中島光輝
富山市（大山地域）鳥獣被害対策
実施隊長 中川欣一

・ 誘引物の除去によるクマ対策
富山県自然博物館ねいの里
野生鳥獣共生管理員 赤座久明



申込先：富山県自然博物館ねいの里
〒939-2632 富山市婦中町吉住1-1
電話 076-469-5252 fax 076-469-5865